

努力賞

「お母さんがお母さんになった日」を読んで

荒川区立汐入東小学校四年

西山 瑞希

やなぎだ先生こんにちは。

先生は、たくさんの人から守られていると思ったことはありますか？この本はお母さんがいろいろな心配など苦労をして赤ちゃんを生んだお話です。私はこのお話からたくさんの人からいろんなことを守られていることに気づきました。私は、お母さんによく注意されたりおこられたりします。でもそれは、すべて私のためにおこっていることがわかりました。でもお母さんは、何かができるようになった時やお手伝いをした時などはとてもほめてくれます。

私はお母さんにおこられたりするとやな気持ちになります。でもこの本を読んだらお母さんがおこっている理由をしっかり考えられるようになりました。

私はお父さん、お母さんだけではなくお友達にも守られていることに気づきました。

もしお友達がいなかったら、いっしょに遊ぶ人もいなくて、学校など習い事がぜんぜんだのしくなくなったり、お友達がいるだけで毎日がとても楽しくなっているなと思います。

私は、お父さん、お母さんの「命」をもらって生きています。世の中には食べたくてもごはんが食べられなかったり学校などにいくことができない人がたくさんいます。そう思うと私は、ごはんが食べれて、学校にも行けておふるに入れるなど

たくさんの方ができて、これだけでも私はとても幸せだと思いました。

私はお父さん、お母さん、お友だちなどたくさんの方からあいじょうを受けて、とても幸せな毎日を送らせていることをこの本を通じて知ることができました。これからは、自分を大切にし、守ってくれているお父さん、お母さん、お友達に感謝やしていこうと思いました。